

週単元テスト ⇄ 立志ノートの効果的な活用事例

学推担当：高木・教頭

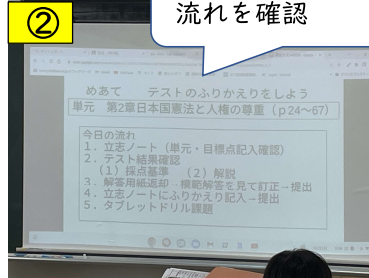
夏休み前に実施したアンケートにより、教師も生徒も「効果的な立志ノートの活用方法」について試行錯誤中であることを感じました。そこで、週単元テストの返却時に立志ノートを効果的に活用している中澤明子先生〔3年社会〕の授業の様子取材してきました。完コピが難しくても、ヒントになりそうな工夫がたくさん見られる授業でした。ぜひ、参考にしていきたいと思います。

導入



①

まずはQuizizzでテスト範囲の内容を再確認



②

今日の授業のめあてと流れを確認

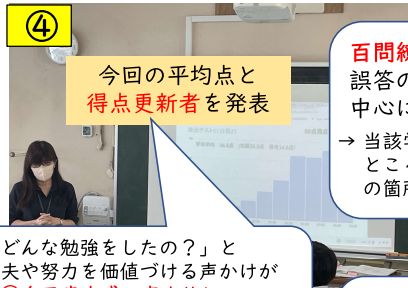
テストの結果に関心があるということは、**学習改善のチャンス**があるということだと考えられます。
点数や順位にばかり目を向けさせるのではなく「**学び方を学ぶ**」ことを意識して授業を設定したいですね。

展開



③

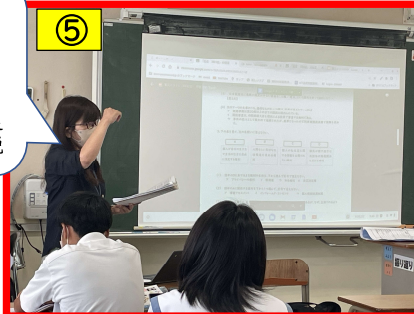
立志ノートを用意させる



④

今回の平均点と得点更新者を発表

百問繚乱のデータから誤答の多かった問題を中心に解説
→ 当該学級のよくできたところは誉め、理解不足の箇所は読み取って解説



⑤

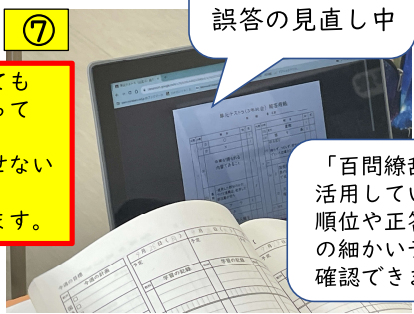


⑥

ここでやっど？テスト返却

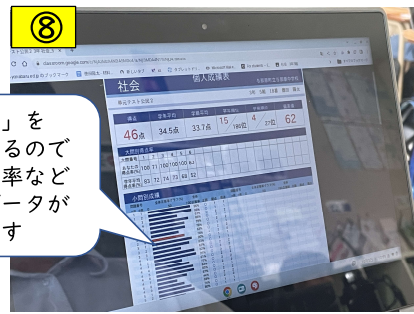
「どんな勉強をしたの？」と工夫や努力を価値づける声かけが
①自己肯定感の高まりと
②主体的に学習に取り組む態度の育成に効果的でした！

タブレット上で模範解答を確認しながら誤答の見直し中



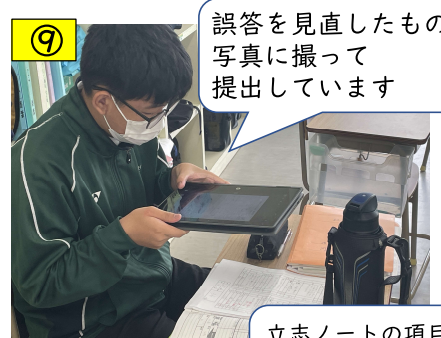
⑦

テスト返却後はどうしても集中しにくい時間になってしまいがちです。点数だけに一喜一憂させないようするための展開の工夫が感じられます。



⑧

「百問繚乱」を活用しているので順位や正答率などの細かいデータが確認できます



⑨

誤答を見直したものを写真に撮って提出しています

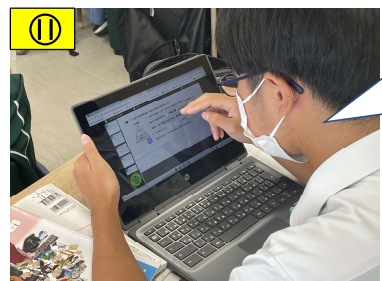


⑩

立志ノートの項目を使ってテストの振り返りを行い写真に撮って提出しています

教科名	公民	単元	生徒の振り返りのようす
目標	8割以上	結果	56点 / 50点
		再テスト予定	なし
ふりかえり	前のテストと比べて、漢字の書き間違いが少なかった。また、問題を前と比べてよく読んでいた。お礼をいって、誤答を修正し、タブレットを活用して、記号や○×問題を解いた。次はタブレット活用(2回)の工夫について。		

終末



⑪

振り返りの提出が終わった生徒にはタブレットドリルのフォローアップ問題を配布し取り組ませています。

テストの振り返りシートなどを用意している教科もあると思いますが、中澤先生は「立志ノート」の振り返りの枠を活用しています。その内容についても、テスト返却の前に前回の単元テスト時に書いた内容を確認させるなど「**自立した学習者**」を育成するための工夫が見られます。また、振り返りの内容をデータとして集約することで「**主体的に学習に取り組む態度**」の評価材料としても活用が見込めます。**週単元テスト・立志ノート・タブレット・百問繚乱**…と与えられた教具やシステムを最大限に生かした展開はさすがでした！中澤先生、ありがとうございます。

